

# 古紙パルプ配合率を正しく管理し、表示しています ～ 適正な表示の再生紙を製造するための王子製紙グループの取り組み～

古紙が再生紙に甦るには様々な作業が必要です。まず、古紙から古紙パルプを作ります。古紙は水を加えてかき混ぜるだけでパルプに戻りますが、インキやゴミで汚れているので、これを取り除いて古紙パルプができあがります。次に、古紙パルプとフレッシュパルプを決められた割合で混ぜ、抄紙機で抄き、さらに印刷機の大きさに断裁して包装し、製品ラベルを貼って再生紙の完成です。

製品分析では測定できない古紙パルプ配合率を確認できるのは製造現場の記録だけです。工場では、下図の①～⑤の記録を保存し、適正な古紙パルプ配合率で製造したことを製造部門と品質管理部門が二重で管理しています。さらに、これらの記録は、社内に設置した古紙配合率監査委員会の内部監査のほか、希望される製品販売者の皆様にも確認いただいております。

## 1 受け入れた古紙の種類と量を確認

入荷した古紙の種類や量等を記録した“受け入れ台帳”を確認できます。



## 古紙パルプ配合率の証拠となる記録 5 項目

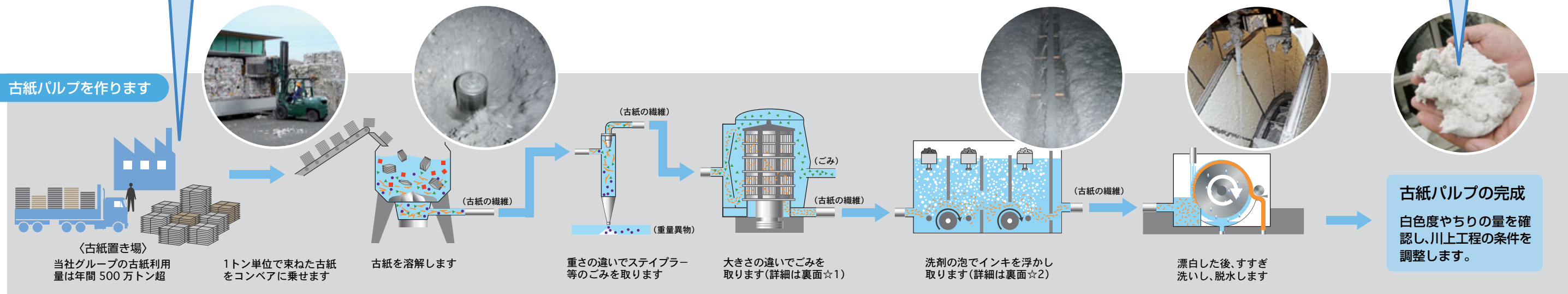
- ① 工場で使っている古紙の種類と量の記録 (古紙置き場)
- ② 古紙パルプの製造能力と実際に生産した量の記録 (古紙パルプ製造現場)
- ③ 配合したパルプの種類と量の記録 (抄紙原料調合現場)
- ④ ロット(親巻取)の古紙パルプ配合率の記録 (抄紙現場)
- ⑤ 製品の古紙パルプ配合率の最低保証値をラベルに表示 (製品に添付)

## 2 古紙パルプ製造能力と生産量を確認

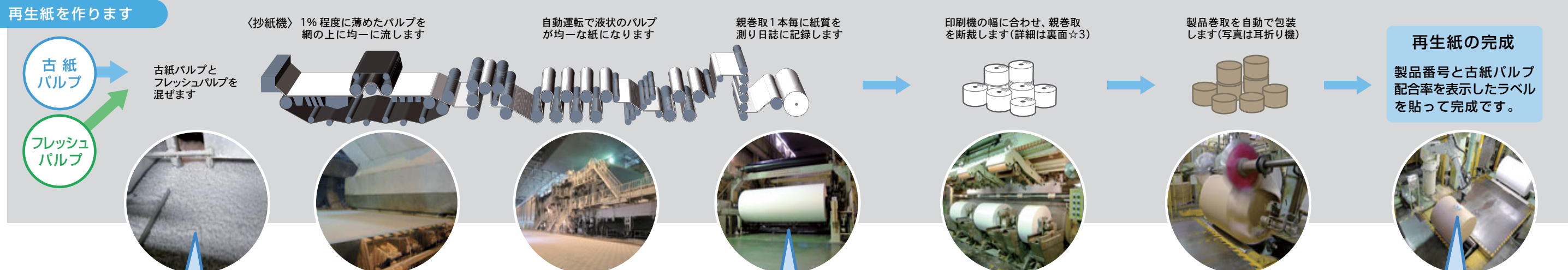
古紙パルプの製造工程では、“工場の古紙パルプ製造能力”と“実際に生産した古紙パルプの量”を確認できます。



## 古紙パルプを作ります

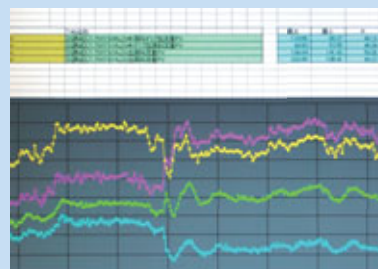


## 再生紙を作ります



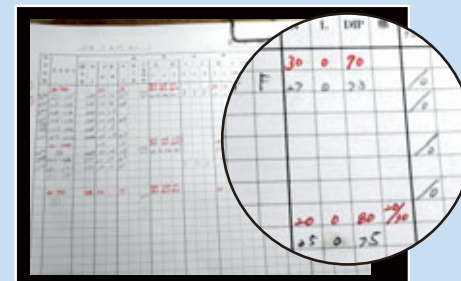
## 3 パルプ配合率を確認

古紙パルプ、フレッシュパルプそれぞれの濃度と流量は、設定値に合わせて自動制御されます。計測器の測定値はグラフにして保存し、“古紙パルプ配合率を記録した日誌”と共に確認できます。



## 4 できあがった再生紙の配合率を確認

抄紙工程でも、“古紙パルプ配合率を記録した日誌”を確認できます。この記録を工場内の品質管理部門に送り、パルプ配合率が指定通りになっているかを二重に確認します。



## 5 製品ラベルで配合率を確認

古紙パルプ配合率の最低保証値を表示したラベルを製品に貼付します。ラベルの製品番号から製造履歴(①～④)を追跡できます。

